

第8回

テーマ「子は親の鏡・自立した子どもを育てるために家族で協力を」

瑞穂市立穂積小学校 校長 ^{たかだ}高田 かがりさん

最近変わってきたな、と思うことがあります。それは、小学校の入学式の様子です。30年ほど前は、入学式に見える保護者のかたはほとんどがお母さんでしたが、最近はお両親で見える方が多いです。また授業参観でも、祖父母のかたや、お父さんの出席も珍しくありません。

少子高齢化が進んできたことを実感するとともに、これは素晴らしいことだと思います。子育ては女性の仕事ということよりも、男女が協力して行うことが当たり前になってきているとも言えます。そのような中で育つ子は、父親や母親の役割を当たり前のよう受け止め、この環境が人として自立していく第一歩になると思います。老若男女を問わず、男女共同参画はまずは家庭から始めることが大切であると思います。

また、社会的にも女性の働きかたの待遇は改善されつつあると思います。それと同時に、やはりやるべき仕事はしっかりやるという責任も伴います。大人が、まずは一社会人として自立して働いたり活動したりすることで、子どもたちの手本となっているか、人として正しい方向を示しているか、相手を尊重した言動をしているか、などの具体的な姿を見せて生活することが大切であると思います。学校・家庭・地域が協力して、かけがえのない、可能性をいっぱい秘めた子どもたちを共に育てていきましょう。



※「子は親の鏡」はドロシー・ロー・ノルト著 子どもが育つ魔法の言葉より

この記事についてのご意見・ご感想をお待ちしております。

企画財政課

TEL : 058-327-4128 FAX : 058-327-4103

E-mail: kikaku@city.mizuho.lg.jp

